

トップからの環境メッセージ

持続可能な社会の実現を目指して

環境保全活動を加速

「ブラザーグループは、微力ではあるが地球の環境負荷低減に役立てるような活動を行っていきたい」。人間社会の経済成長の陰で、地球温暖化をはじめとするさまざまな環境問題が顕在化しています。直面する地球規模での気候変動への対応として、私たち人間が自然界に学びながら循環のプロセスを作り出すことが急務となっています。

ブラザーグループは「ブラザーグループ グローバル憲章」の下、策定された中長期ビジョン「グローバルビジョン21」達成に向け、さまざまな面において"真のグローバル化"を推進しています。

40以上の国と地域に拠点を置きグローバルに事業を展開する組織として、持続可能な社会の実現に向けた様々な活動をグローバルに加速させるため、環境スローガン「Brother Earth」を策定し、「よりよい地球環境を、あなたとともに。」を統一メッセージとして、お客様をはじめとするブラザーと関わる方々とともに、一体感を持った取り組みを展開し、拡大に努めています。



2014年度の成果

各地域の法規制動向に迅速に対応できる体制の継続的な強化、省エネをはじめとする製品に関わる環境負荷の更なる低減を進めています。また、各国環境ラベルの積極的な取得、新基準への対応を図るとともに、エコデklarレーション(ECMA370)に沿った新製品の環境負荷情報の公開を開始しています。さらに、気候変動の主な原因とされるCO₂などの温室効果ガスの排出量削減に関しては、CO₂排出量削減活動の対象範囲を2013年度からグループ全体に拡大するとともに、ISO 14064に基づいたスコープ1、スコープ2に対する検証受審活動や、グループ外のサプライチェーンなどにおける環境負荷として定義されているスコープ3への対応も開始しています。また、43拠点で延べ100を超える森林や海洋の生態系を守る活動を実施するなどの多彩な環境コミュニケーション活動を展開し、多くのステークホルダーと連携・共同の輪を広げています。



よりよい地球環境を、あなたとともに。

このように、グループ一体となって「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011～2015)達成に向け着実な成果を上げています。

特に海外生産拠点のCO₂排出量については、2020年度中期目標2006年度比20%削減(売上高原単位比)を2013年度に7年前倒しで達成した後もさらなる削減活動を推進し、31.7%の削減となりました。日本国内の8事業所のCO₂排出量については、2020年度中期目標の1990年度比30%削減(絶対値)に対する2014年度目標24%削減を達成する25.2%の削減となりました。

外部からの評価

このようなブラザーグループの環境保全活動の成果は、気候変動に関する企業の取り組みを評価する「CDP(カーボンディスクロージャープロジェクト)」で85点*評価B(前年78点評価B)、「日経環境経営度調査」の製造業ランキング16位(前年36位)と、高い評価となって表れています。*: スコアは、CDPの質問書に対する回答についての評価点です。

未来永劫に繁栄し続ける企業へ

私たちブラザーグループは、お客様に信頼され、未来永劫に繁栄し続ける企業となるために、「ブラザーグループ グローバル憲章」に従い、これからもグローバルに展開する事業活動のあらゆる面で地球環境の配慮に前向きで継続的な取り組みを推進してまいります。

2015年7月

ブラザー工業株式会社 代表取締役社長

小池利和